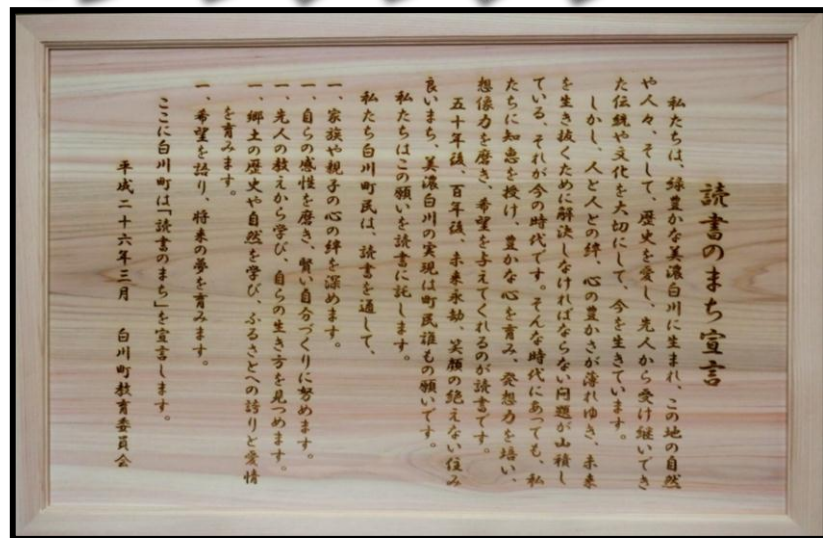


# ひとなる

《白川を愛し、たくましく心のあったかい子を育む美濃白川》 読書の場・芽生えを培う場・やすらぎの場・広がり場

## 読書のススメ

本町では平成26年3月に町民をあげて読書に親しむことを通して笑顔の絶えない住よいまちづくりを推進しようと「読書のまち宣言」を議決しました。右の写真は、檜の木材に「読書のまち宣言」を焼き付けた額です。各小・中学校、楽集館及びふれあいセンターにそれぞれ掲示しています。



さて、平成26年度にも町立図書館としての楽集館が中心となり、地域、保護者、園・学校と連携を図りながら読書活動を推進してきました。可茂地区学校図書館教育賞においても、町内の多くの学校が取組を高く評価いただきました。また、8月に行われた「美濃白川読書サミット」では、児童生徒及び読み聞かせサークルや公民館など地域の方々に参加いただき、「本当に読書のまちなんだと実感しました」と感想を寄せていただきました。平成27年度も8月に「読書サミット」を実施する予定です。多くの地域の方に参加いただき、読書のまち美濃白川を感じていただきたいと思います。

さて、3月13日に学校図書館主任と楽集館司書の合同会議を開催し、活動の振り返りと次年度の読書活動の推進について話し合いました。その中で、読書感想文について白川小宮内智鶴子前校長が次のように話されました。

感想文の書き方に関わるスキルの学習は必要である。しかし、もっと大切なのは“その子がどのような本と出会うのか”である。自分にぴったりの本を選んで感想文を書いた児童がいる。感想文を見て、児童の考え方の面白さに感動した。より多くの本と出会い、自分で本を選ぶことができる力を付けることが、とても大切だと思う。

子どもたちはもちろんですが、白川町の皆さんが、多くの本と出会い、語り合うことが、心豊かに過ごすことにつながることを心から願っています。

## “どの子にとっても分かりやすい授業”を目指して

白川町では、子ども達が楽しく『分かる・できる授業』とするために、授業改善を進めています。

平成25年度には白川中学校が、26年には黒川小学校が県の指定を受け、「ユニバーサルデザインの授業」の研究実践を進めその取組を公表しました。また、平成25、26年には、町教委指定校である蘇原小学校、白川中学校、白川北小学校が授業改善の研究実践を進め公表会を開催しました。各学校の取組は、県内外からも注目を浴びており、視察や問い合わせも多くありました。

今後も、授業のユニバーサルデザイン化を視点としながら、「どの子も分かりやすい授業づくり」を目指して取り組んでまいります。平成27年度は、白川小学校が町教育委員会指定校として、また、蘇原小学校が、県へき地複式研究会の指定を受け、公表会を予定しています。

授業のユニバーサルデザイン化

- 子どもにやさしい学習環境整備
- 学習活動の出口が明確な課題設定
- 協同学習による集団随伴性効果
- どの子にも分かる指導技術の向上

授業改善

## 《祝》卒業おめでとうございます



【佐見中学校卒業証書授与式 卒業生「答辞」から】

- ◇一つの事に本気で取り組むことの価値や喜びを学んだ
- ◇全力で向き合う、共に歩むことの大切さ
- ◇「合唱」は大切なもの、誇り
- ◇コンクールは大きな自信につながった
- ◇仲間と走り続けた駅伝の取組
- ◇地域・先生への感謝の念

平成26年度 白川町小・中学校の卒業生数

	白川小	白北小	蘇原小	黒川小	佐見小	白川中	黒川中	佐見中
卒業(人)	11	10	26	12	11	62	14	9

## 《祝》入学おめでとうございます

平成27年度 白川町小・中学校の入学生数・全校児童生徒数

	白川小	白北小	蘇原小	黒川小	佐見小	白川中	黒川中	佐見中
入学(人)	5	6	18	12	7	43	11	11
全校(人)	64	47	118	78	38	133	46	28